

## DTMCHostの使い方

### — SDロガーのコンフィギュレーションとアップデート —

2021年7月7日 株式会社データ・テクノ(改3版)<Ver1.10 対応>

2020年10月13日 株式会社データ・テクノ(改2版)<Ver1.08 対応>

2020年6月20日 株式会社データ・テクノ(改1版)<Ver1.06 対応>

2019年2月12日 株式会社データ・テクノ

#### ■■ 始めに ■■

SDロガーは、ディップスイッチ設定以外に、パソコンとシリアルケーブルで接続し、設定を変更(コンフィギュレーション)することができます。

またお客様のお手で、内部プログラムをアップデートすることができます。

このマニュアルは、それら方法について述べます。

設定変更、アップデートを行なう手順は、概ねつぎのとおりです。

1. SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost) (パソコンソフト)をご用意ください(弊社Webサイトからダウンロードできます)。
2. ロガーと、パソコンのシリアルポートを、クロスケーブルで接続してください。  
シリアルポートが無い場合は **USB シリアルアダプター** をご使用ください。
3. ロガーのディップスイッチを設定し、コンフィギュレーションモード、またはアップデートモードにしてください。
4. ロガーからはカードを抜いて電源を入れてください。
5. 設定・アップデート用ホスト(DTMCHost)を起動し、実行してください。

#### ■■ 接続 ■■

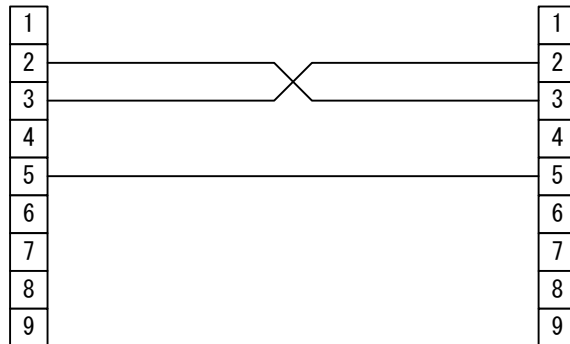
ロガーのD-Sub9ピンコネクタと、パソコンのシリアルポートコネクタを、クロスケーブルで接続してください。

クロスケーブルに必要な最小限の配線は、つぎのとおりです。

出力同士が衝突しないようにご注意ください。

ロガーのD-Sub9ピンの信号入出力は、取扱説明書をご参照ください。

おそらくは市販されている一般的なクロスケーブルが、ご使用可能です。



#### ■■ SDロガー設定用ホスト ■■

つぎに示すSDロガー設定用ホストを、ご使用ください。

インストール作業は特に必要ありません、ダウンロードした「DTMCHost.exe」を適切なフォルダに置き、ダブルクリックなどで起動してください。

実行には、「.NET Framework 4.5」以降を必要とします。

「.NET Framework 4.5」は、Windows Vista 以降にインストールすることができ、Windows 8 以降にはプレインストールされています。

SDロガー設定用ホスト

DTMCHost.exe

■■設定項目■■

設定変更できる項目は、つぎのとおりです。

| 項目          | 選択肢                          |               |
|-------------|------------------------------|---------------|
| 機能          | スクリプト版                       |               |
|             | コマンド版                        |               |
| データビット ※1   | 8[ビット]                       |               |
|             | 7[ビット]                       |               |
| ストップビット ※1  | 1[ビット]                       |               |
|             | 2[ビット]                       |               |
| ビットレート ※2   | 300[bps]                     |               |
|             | 1,200[bps]                   |               |
|             | 2,400[bps]                   |               |
|             | 4,800[bps]                   |               |
|             | 9,600[bps]                   |               |
|             | 19,200[bps]                  |               |
|             | 38,400[bps]                  |               |
|             | 57,600[bps]                  |               |
|             | 115,200[bps]                 |               |
|             | 230,400[bps] ※3              | [本体 V398X 以降] |
| フロー制御       | RTS によるフロー制御を行なわない(DISABLE)。 |               |
|             | RTS によるフロー制御を行なう(ENABLE)。    |               |
| 自動クリア       | 通信エラーの自動クリアを行なわない。           |               |
|             | 通信エラーの自動クリアを行なう。             |               |
| 古いファイルの自動削除 | 自動削除を行なわない。                  | [本体 V396X 以降] |
|             | 自動削除を行なう。上限ファイル数。            |               |
| ログファイル名     | 昇順。                          | [本体 V396X 以降] |
|             | 日付時刻に伴う。                     |               |
| ブザー         | ブザーを鳴らす(SOUNDS)。             | [本体 V396X 以降] |
|             | ブザーを鳴らさない(DISABLE)。          |               |
| フレーム検出      | フレーム検出を行なわない。                | [本体 V400X 以降] |
|             | フレーム検出を行なう。行なう場合のフレーム検出時間。   |               |
| ダンプモード      | 通常(透過モード)                    | [本体 V400X 以降] |
|             | ヘキサダンプ(2桁)                   |               |
|             | ヘキサダンプ(3桁)                   |               |

※1:ディップスイッチ 6 が ON の場合

※2:ディップスイッチ 1~3 がすべて ON の場合

※3:V396X 以前のベーシック版に設定しても、115,200bps となります。

■■設定変更(コンフィギュレーション)■■

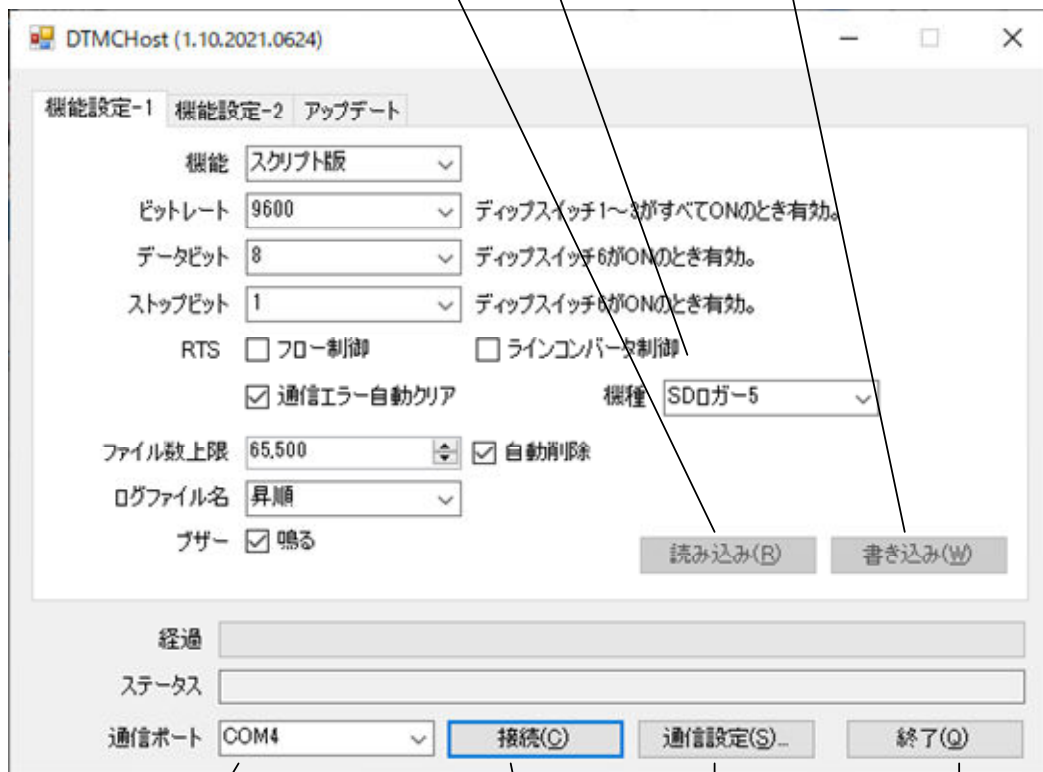
ロガーのディップスイッチ7をONにし、コンフィギュレーションモードにしてください。  
 カードを装着していない状態にしてください。カードが装着されているとコンフィギュレーションモードになりません。  
 9, 600bps、データ8ビット、パリティなし、ストップビット1で行なう場合は、つぎのような設定になります。

| ディップスイッチ |     |     |     |     |     |    |     |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 1        | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7  | 8   |
| OFF      | OFF | OFF | OFF | OFF | OFF | ON | OFF |

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、ロガーからカードを抜いて電源を入れてください。  
 ロガーはこのときコンフィギュレーションモードになり、黄LED(LED2)が、速い点滅をします。  
 SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost. exe)を起動し、つぎの手順で設定変更を行なってください。  
 ※画面は V1.08 です。 ※設定画面-2 も同様に操作してください。

②機種を選択します  
 (SDロガー-5、またはSDロガー-4を選んでください)。

⑤設定値がロガーから読み込まれます。      ⑥ロガーに設定値が書き込まれます。



①通信ポートを選択します。

③通信ポートと接続します。

④通信設定が変更できます。

⑦プログラムが終了します。

#### ①通信ポートの選択

プルダウンメニューの中から、使用する通信ポートを選択してください。  
通信ポートの選択は、プログラムを終了しても記憶されています。  
接続中は、通信ポートの変更はできません。

#### ②機種を選択

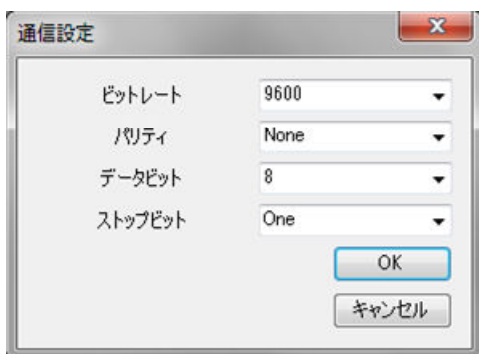
プルダウンメニューの中から、対象機種に該当するものを選択してください。  
機種を選択は、プログラムを終了しても記憶されています。  
接続中は、機種の変更はできません。

#### ③通信ポートの接続

[接続(C)]ボタンを押し、通信ポートを接続してください。  
接続中に押すと、接続が切断されます。  
プログラム起動時に(接続可能な場合は)自動的に接続されます。

#### ④通信設定

[通信設定(S)...]ボタンを押すと下記ダイアログが現われますので、通信ポートに関する設定を行なって下さい。  
接続中は、通信設定は変更できません。  
通信ポートの選択は、プログラムを終了しても記憶されています。



#### ⑤設定値の読み込み

[読み込み(R)]ボタンを押すと、ロガーから設定値が読み込まれ、表示されます。

読み込み中は、経過欄に進捗が表示されます。  
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。  
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

#### ⑥設定値の書き込み

[書き込み(W)]ボタンを押すと、表示されている設定値がロガーに書き込まれます。

書き込み中は、経過欄に進捗が表示されます。  
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。  
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

#### ⑦プログラムの終了

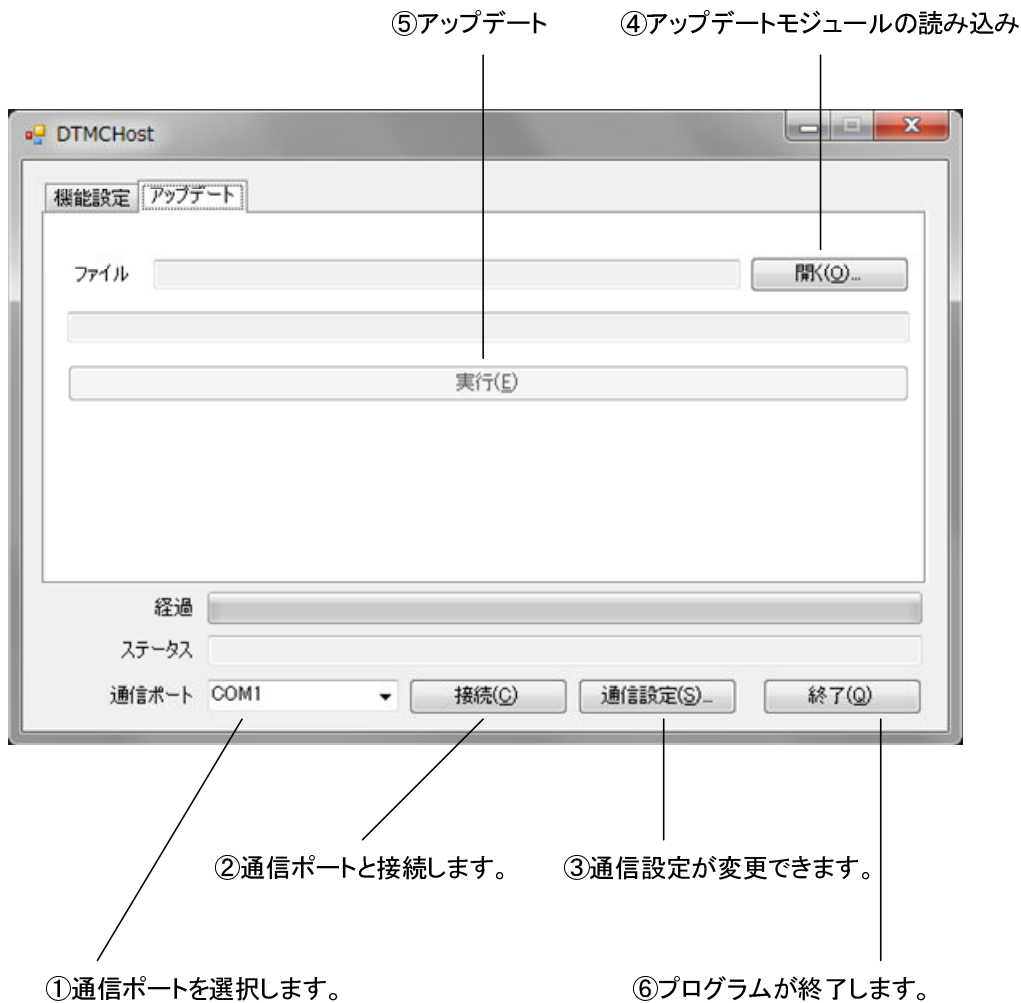
ロガーの電源を切り、専用ソフトを終了させ、ケーブルを外してください。  
ロガーのデバッグスイッチを、通常の状態に戻してください。  
行なった設定は、つぎにロガーの電源を入れたときから有効になります。

## ■■アップデート■■

ロガーのディップスイッチ7, 8をONにし、アップデートモードにしてください。  
カードを装着していない状態にしてください。カードが装着されているとアップデートモードになりません。  
115, 200bps、データ8ビット、パリティなし、ストップビット1で行なう場合は、つぎのような設定になります。

| ディップスイッチ |     |    |     |     |     |    |    |
|----------|-----|----|-----|-----|-----|----|----|
| 1        | 2   | 3  | 4   | 5   | 6   | 7  | 8  |
| OFF      | OFF | ON | OFF | OFF | OFF | ON | ON |

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、ロガーからカードを抜いて電源を入れてください。  
ロガーはこのときアップデートモードになり、赤LED(LED3)が、速い点滅をします。  
SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost. exe)を起動し、つぎの手順でアップデートを行なってください。



①～③、⑥は前述「設定変更(コンフィギュレーション)」(①、③、④、⑦)を参照してください。

### ④アップデートモジュールの読み込み

[開く(O)...]ボタンから、ダウンロードしたアップデートモジュール(拡張子 fu2)を読み込んでください。

## ⑤アップデート

[実行(E)]ボタンを押して書き込みを開始してください。  
アップデートが開始され、経過欄に進捗が表示されます。  
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。  
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

### ■■そのほか■■

---

SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost)は、弊社製品適合機種の設定変更・アップデートを行なう目的のみ、無償でご使用いただけます。

その他の目的には、ご使用にならないようにお願いいたします。

## 株式会社データ・テクノ

京都市下京区西七条東御前田町48番地

〒600-8898 TEL:(075)313-3275 FAX:(075)314-0576

<http://www.datatecno.co.jp/>

・本取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。